**普通階・無窓階算定書**

（Ｎo.　　）

防火対象物名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

（　　　階）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　算定者名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 床面積（Ａ） | 基準開口面積（A/30） | 有効開口部面積合計 | 算定結果 | * 消防機関

判定 |
|  | ㎡ |  | ㎡ |  | ㎡ | 普　・　無 | 普　・　無 |
| 開口部位置または方角 | 建具記号 | 開口部種別 | 床からの高さ(ｍ) | 幅(ｍ)×高さ(m)×所在数 | 開口部面積小計　(㎡) | ※備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

[普通階・無窓階算定書記載要領]

１　地上階について、消防法施行規則5条の2の規定の適合する開口部のみ計上して下さい。

２　仕切り壁等の為相互に往来出来ない場合は、その部分ごとに算入して下さい。

３　数値はその都度、小数点第3位以下を切り捨てて下さい。

４　直径1ｍ以上の円が内接することができる開口部、又は幅75cm以上、高さ1.2ｍ以上の開口部については、その建具記号を○で囲んで下さい。

５　「床からの高さ」欄には、床面から開口部下端までの高さを記入して下さい。

６　「開口部種別」欄には、ガラス種別、厚さ及び「引き違い窓」・「堅軸回転窓」・「水圧開錠装置付」・「水圧開放装置付」等の種別を記入して下さい。

７　※欄には記入しないで下さい。

８　算定書は消防用設備設置計画書、又は防火対象物使用開始届出書の一葉目に綴じて下さい。又、算定書の次に配置図、立面図、キープラン及び建具表を綴じて、有効と算定した開口部を朱色で示して下さい。